

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・現場での朝礼にて経営理念である「安心安全な住みよい街づくり」に向けての取り組みを代表者が発信し、全社員で共有している。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・月1回の安全会議の際に法令遵守についての重要性を代表者から事例を交え説明を行い、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・代表者が仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか、チェックしている。										10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表者が自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握し、社員に対し共有している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・当社独自の施工方法やノウハウ、営業秘密の保護に取り組んでいる。 ・他社の知的財産を保護する為の内容を契約時に記載している。							8.2 8.3	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については金庫内の保管を徹底し、厳重に管理を行っている。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、工事を実施する際には近隣住民への説明会や説明文にて案内を行っている。																	16		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・熊本県建設業協会や宇土商工会に所属し、SDGsセミナーの受講を行うなど、様々な社会問題についての情報共有を行っている。				5			8		10		12	13	14	15	16		17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1							16
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業承継セミナーへの参加をしている。							8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16		17	

## チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・月1回の安全会議にて、ヒヤリ・ハットの事例共有を行い、業務中の事故等を未然に防ぐ体制を整えている。 ・充電式工具を使用する事でケーブル等での転倒を防止している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に沿って従業員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・原則週休二日とし、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組みや、休暇制度の充実(育児休暇、介護休暇、慶弔休暇)を図り、家事や育児への積極的な参画を促している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・講習会の受講や資格取得の経費補助を行い、教育訓練の機会を従業員に提供している。 ・各種免許保有者に対しては免許手当を支給し、積極的な能力開発に取り組んでいる。 ・CPDSの受講を通じて技術力の向上を図っている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の健康診断の受診補助を行い、従業員の健康に配慮している。 ・各現場毎に休憩室を設け、熱中症対策や生産性の向上に取り組んでいる。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・各種休暇制度(育児休暇、介護休暇、慶弔休暇)の充実を図り多様な人材が活躍できる環境の整備を行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議システムを導入しており、ウェブセミナー受講等新しい生活様式への対応を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・工事現場からでも資料が確認できるようにサーバー導入を行い、業務の効率化に取り組んでいる。				3	4				8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●											8	9			12					

## チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の分別を徹底して行っており、分別後は産廃業者にて適正処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所の照明については都度LED照明への切替を行い、節電に取り組んでいる。 ・ハイブリッド車・PHEV車を導入している。						7.3						13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・使用する重機は排ガス抑制型の機械を使用している。 ・充電式工具を積極的に採用し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。 ・ハイブリッド車・PHEV車を導入している。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事や護岸工事の際に汚濁防止のため、汚濁防止膜を使用し環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・護岸工事の際には吸着マット、中和剤を常備し、環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・アサリの漁場整備を行い、生物多様性に貢献している。					6.6							14	15								
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事務所内でのペーパーレス、裏紙の使用を行っている。 ・工事の際に発生する廃棄物(木材、石、土砂)の再利用を行っている。 ・ペットボトルから再生された繊維を使用した作業着を採用している。						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15								
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・河川工事や護岸工事の際に汚濁防止のため、汚濁防止膜を使用し環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・護岸工事の際には吸着マット、中和剤を常備し、環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17						
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・河川工事では苔が生えやすく環境に配慮した粗面ブロックを使用している。 ・グリーン購入に基づいた環境に配慮した事務用品の利用を促進している。						9.4				12.4 12.5	13	14	15								
環境	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17					
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・工事の際に撤去した生木については、事務所周辺に植樹を行い緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17					
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・充電式工具を積極的に採用し、エネルギー使用率の改善を図っている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3										
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15								
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15							
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・年2回の海岸清掃を行い、海洋ごみの削減、海洋汚染の防止に貢献している。										12.2 12.5		14									
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								9.4		11.2		13.1 13.3											
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13								17.2		

## チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・看板を見やすい位置に設置し、サービスの安全性に配慮している。 ・サービスの安全性を確保するために労働基準監督署との情報共有を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所内において車イスでも通行可能な玄関スペースを設け、ユニバーサルデザインの概念に沿った執務環境づくりに取り組んでいる。								9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・工事で使用する資材は、熊本県産の原材料を積極的に使用している。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		・事務所の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。 ・工事の際に間伐材を使用した看板を設置している。					7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・本業での急傾斜工事や防波堤、高潮対策工事を行うことで地域の住民が安心して暮らすことができる地域づくりに貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・年2回の海岸清掃ボランティアを行い、社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業への被害を防止、軽減するため軍手、ヘルメット、土嚢等を常備している。 ・自然災害に備え、水の備蓄を行い、発電機を保有している。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・地域防災の担い手として消防団の協力事業者に登録している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社内でSDGs委員会メンバーを選定し、事業活動において社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、金融機関との定期的な連携により課題解決と進捗の共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・小川工業高校より毎年2名程度のインターンシップ受け入れを行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・学校訪問を実施している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。